



しらぬか  
白糠小学校

開校／明治18年1月18日

所在地／白糠町西2条南3丁目1番地1

TEL (01547)2-2828 FAX 2-4841

学校長／滝川敦善

教頭／富樫慎也



- ◆教育目標 あかるく～礼儀正しくのびのび行動する子ども  
やさしく～みんなを大事にし、力を合わせる子ども  
かしこく～進んで学び、正しく判断できる子ども  
やりぬく～よく働き、最後まで頑張るたくましい子ども

◆経営の基本方針

「子どもの成長を軸足とした授業改善」

- ・学校の教育力を強化し、教師の力量を高め、実践を積み重ねる。

「教職員の専門性と組織力を生かした学校力の向上」

- ・教職員の多様な経験、指導観を共有し、日常の実践を通して基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせる。

「ふるさと教育を基軸とした教育活動の推進」

- ・ふるさと教育を基軸とした教育活動のマネジメントサイクルを機能させる。

「信頼される学校の実現」

- ・教育課程の適切な管理と危機管理に対して教職員の結束を図り、「安全と安心」「信頼と愛情」あふれる学校を実現する。

◆特色ある教育活動等

「ふるさと教育を基軸とした教育活動」

今年度で開校136年、明治18年創立以来1万名以上の児童が巣立っていった歴史と伝統のある学校です。本校では、ふるさと学習として「アイヌの人々の歴史・文化」「駒踊り音頭」をはじめ、全教科・領域等でふるさとの「人・文化・自然」から学ぶ教育活動を重視しています。

例年、全学年で行っている「E・Cタイム」(E＝英語・C＝中国語)により語学力の向上と国際理解・異文化理解を充実させています。

「白糠学園開校に向けた取り組み」

令和4年度の白糠学園開校に向けて、白糠小・中学校の教員で一貫教育に向けた研修を実施中です。さらに中学校教諭の乗り入れ授業をはじめ、定期テストや専科制の導入を進めています。

駒踊り音頭  
(運動会)



中学校教諭による乗り入れ授業  
(外国語科)





しらぬか  
白糠中学校

開 校／昭和22年5月3日

所在地／白糠町西4条北2丁目2番地8  
(令和4年8月まで白糠高校4階)

TEL (01547)2-2825 FAX 2-4905

校 長／佐 藤 毅

教 頭／湯 川 朋 広



- ◆教育目標 自ら進んで学習する生徒  
豊かな生活をきずく生徒  
強じんな心身の生徒

- ◆めざす学校の姿

生徒と教師が本気で向き合い、主体的に学び合い、共に高め合う学校

- ◆特色ある教育活動等

ふるさと教育を基軸とした活動の充実を図り、ふるさとの良さの再発見、心豊かに接すること、地域社会の一員としての自覚を高めることに取り組んでいます。

- 地域住民の方々の協力を得て「ふるさと調理実習」や「避難訓練」などの行事を一緒に行い、ふるさと「白糠」を知り、ふるさとの良さを理解する機会を設けています。
- アイヌの人たちの歴史や文化の学習では、白糠町出前講座を活用してアイヌ文化保存会の皆さんのお話を聞き、体験的な活動に取り組んでいます。また、気軽に英語に親しみ、簡単な英会話に取り組めるECクラブをALTと英語科教員で開設し、生徒も教員も楽しく英語を学び、語学力向上に取り組んでいます。
- 校舎分離型小中一貫教育校として、白糠中学校の教師が小学校に乗り入れて授業を行う他、学校行事でも互いに発表する場を設定して一緒に活動しています。小学校における長期休業時のサポート学習では、中学生が学習支援として参加しています。また、子どもたちの学びの連続性、系統性を高めるため、小中学校の教員が合同で研修を行い、子ども理解とより良い子ども支援の在り方に取り組んでいます。



町内会と合同避難訓練の様子



アイヌ文化出前講座の様子



中学校教師の小学校への乗り入れ授業



## ちや ろ 茶 路 小 中 学 校

開 校／小学校 明治34年7月15日

中学校 昭和23年7月8日

所在地／白糠町マカヨ1番地1

TEL (01547)2-2797 FAX 2-4985

学校長／小 林 香 織

教 頭／重 田 健



- ◆教育目標
- 思いやりのある 心のやさしい子 (情)
  - よく考え すすんで学ぶ子 (知)
  - ねばり強く やりぬく子 (意)
  - 健康で たくましい子 (体)

◆特色ある教育活動等

「施設一体型」「少人数」「地域に根差す学校」という茶路ならではの強みを生かして、系統性・連続性のある指導実践に取り組み、子供の良さや可能性を最大限に引き出す教育活動を行っています。各教科においても、目指す姿（15歳像）と9年間の学びを整備し、小中一貫教育を進めています。

① プランニングノートの活用

学校での学習と家庭での学習を「振り返り」を基軸に連動させる「学びの輪」の定着・充実を図るため、プランニングノート（通称Pノート）を活用し、児童・生徒と家庭・教員間の連携を密にした取り組みをしています。

② ECタイム

英語・中国語の学びを通して、未来を生きる子どもたちに国際社会を生き抜く力を育てています。

③ スピーチデイ

毎週金曜日の昼休み、児童生徒を6つのグループにわけ、発表・司会・発言に取り組み、「話す力」「聞く力」というコミュニケーション能力を高める活動をしています。

④ 小学校への乗り入れ授業

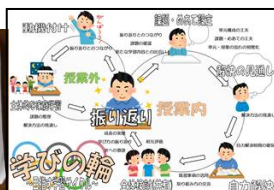
小6の主要教科を各学期に1単元ずつ担当する「単元担任制」や高学年の英語と中学年の図工を担当する「教科担任制」を導入し、中学校教員が小学校で乗り入れ授業を行っています。



高学年外国語の乗り入れ



「学びの輪」の図と「Pノート」



スピーチデイの様子



しよ ろ がく えん  
庶 路 学 園

開 校／平成30年4月1日

所在地／白糠町西庶路学園通1丁目1番地

TEL (01547)5-8255 FAX 5-8257

学校長／齋 藤 超

副校長／村 瀬 清 史

教 頭／山 館 孝 志

◆学校の教育目標

- 自ら考え行動する子
- 他を思いやり共に成長する子
- 心身共にたくましい子

《15歳の子ども像》

「進むべき道を自ら描き、仲間とかかわりながら努力を続ける人」

◆特色ある教育活動



「飛翔の丘」に建つ庶路学園



低学年・芋ほり体験



異学年集団交流(しっぽとり)

ALT、後期課程教員の  
乗り入れ授業(外国語)



① 白糠に誇りを持たせる「ふるさとキャリア教育」の推進

白糠町の教育の基軸である「ふるさと教育」を推進するため、町内の様々な素材を教材に取り上げるとともに、地域の人材を有効活用しながら学習を進め、地域に誇りや愛着心、帰属感を持った児童生徒を育てる。また、社会で生き抜く力を育てるためのキャリア教育（汎用的能力も含む）を意識した教育課程を推進する。

② 9年間の成長を見据えた一貫性のある指導

「学びのスタンダード」「生活のスタンダード」などをもとに9年間、全教職員が共同歩調で一貫した教育を行い、実効性のある指導を行う。

③ 保護者・地域とともにある学校づくり

学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合う「学校運営協議会」の設置を通して、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、保護者・地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）を進める。

④ きめ細かく専門的な教科指導の充実

4-3-2制の中期（中等部）から原則として教科担任制を導入する他、習熟度別指導やティーム・ティーチングの実施など、きめ細かく専門的な指導の充実を図る。

⑤ 世界での活躍を目指す外国語教育・情報教育の充実

小学校1年生段階から外国語教育（英語・中国語＝ECタイム）を実施し、世界に通用するコミュニケーション能力の育成を目指す。また、子供たちの理解を促すためにICT機器を取り入れた指導を積極的に行うとともに、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成、プログラミング教育を各教科、総合的な学習の時間を中心に実施し、情報教育を積極的に推進する。

⑥ 異年齢集団との意図的・計画的な交流

7歳から15歳までの児童生徒が1つの空間で学ぶことに加え、校舎には認定こども園が併設されていることから園児との交流やブロック間交流、学年間交流など、異年齢集団で学場を意図的・計画的に設定し、交流の場を充実させ、体験を通して他とのコミュニケーション能力を育成する。

⑦ 万が一の事態に備えた防災教育の充実

校舎が地域の防災拠点となることを踏まえ、児童生徒には系統的な防災教育を行うとともに、7年生において、地域との協働による防災宿泊訓練を実施する。また、教職員には災害時の対応（避難施設になった場合の対応訓練を含む）に係る研修を行う。